

● 発行 ● 三重県小中学校長会 津市桜橋 2-142 = 三重県教育文化会館内 TEL 059-227-7011 E-mail mie-kotyokai@galaxy.ocn.ne.jp ●編集 ● 三重県小中学校長会 広報委員会 ● 印刷 ● 光出版印刷株式会社 松阪市久保町 1885-1 TEL 0598-29-1234





私の学校づくり

校長 鬼 頭 光 宣

桑名市の中心地に位置する精義小学校に勤めて三年目になりました。

題としています。 等を経営する自営の方は減少傾向にあります。高齢化社会が進み、 う全学年単学級となってしまいました。校区は商業地域ですが、店舗 視点を生かした「どの子にもわかりやすい授業づくり」を今年度の課 学校はみんなが集まるコミュニティー 学びがいのある学校、信頼される学校を目指して、特別支援教育の 全校児童数一八九名、 小三は三八名で今年度一学級となり、 とうと 小

わりを学校と持ち続けてみえます。 域全体を見る目が養われ、自分の子どもが卒業してからも何らかの関 験された方が多いように感じます。PTA活動を通して学校全体、 すが、本校の卒業生である地域の方は、小学生を大切に見守り、 に協力しようという方が大変多く見られます。 そのような方にお話を聞かせていただくと、昔PTA役員などを経

地

学生がいない自治会もかなり増えてきました。そんな状況ではありま

いるという視点から、地域のコミュニティーを支える機関となれるよ と思います。地域の発展、成熟のためには学校も一定の役割を持って とに心がけています。 触れたり、 域のみなさんが学校に来られる機会を多く持ち、 得られた視野が、将来にわたって、きっと地域づくりに貢献していく 体験を直接聞かせてもらったりすることで、多くの出会いをつくるこ 校の力だけでは限界があります。それを可能にしていくためにも、 また、現在の保護者の皆様にとっても、 目の前の子どもたちが元気に自分の可能性を伸ばしていくには、 学校づくりを進めていきたいと考えています。 専門的な知識を聞かせていただいたり、 PTA活動や地域の活動で 子どもたちが本物に 地域の歴史や昔の 地







する諸問題の解決に向けて、組織 のもとで、小学校と中学校に共通 ねてきたところです。 の活性化に向けて、鋭意努力を重 学校長会の組織力の向上と諸活動 振興を図るとともに、三重県小中 実践を積み重ね、本県義務教育の てきました。また、真摯に研究と 的に取り組み、 会員相互の緊密な連携と連帯 一重県小中学校長会は、 多くの成果をあげ

況にあります。また、目まぐるし 係は希薄化し、 激しく変化し、先行き不透明な状 いじめや体罰など人間の尊厳が脅 く変化する社会のなかで、 しかし、教育を取り巻く社会は 学校においては、 人間関

う必要性がでてきました。 のように、学校が抱える問題は、 組みづくりが急がれています。こ 災地における学校の復旧・復興を す。その一方で、未曾有の大災害 決には、社会全体で教育と向き合 ますます複雑・多様化し、その解 社会全体で支援していくための仕 した防災教育の推進とともに、 から学んだ私たちは、地域に根ざ かされる重大な問題も起きていま 被

まってきています。 する社会にあって、ますます高 を育成する教育への期待は、 現を目指し、主体的に学ぶととも かな創造性やしなやかな知性を発 を乗り越える子どもの育成」や「豊 る様々な問題から、今、学校には、 育成」が望まれ、こうした子ども 人間性豊かな社会を築く子どもの 「未来に夢や希望を抱き、その実 こうした時代の潮流や教育を巡 自ら困難に立ち向かい、それ 互いの個性や絆を大切に、 激動

しっかり向き合いながら、子ども 現場では、これまでも、子どもと こうした状況を踏まえ、各教育

> きています。 ら新たな知を拓く教育も生まれて ジョンが策定され、その実現を目 なりながら、特色ある教育が推准 指し、学校・家庭・地域が一体と が輝く未来づくりに向けた教育ビ されてきました。そして、そこか

ません。 起こっています。私たちは、 然厳しく、昨年度には、校長自ら と向上を図っていかなければなり 解決に向けて、教育の一層の充実 返すことのないように、諸問題の が命を絶つという痛ましい事案も した悲しい出来事を、断じて繰り しかし、教育を巡る状況は、 こう

せん。また、校長としての使命に 易と流行を見極めつつ、真摯に研 状を深く認識し、教育における不 必要があります。 づくりにも、全力を尽くしていく 安全・安心で活気にあふれた学校 地域から信頼される教育を築き 誇りを持ち、優れたリーダーシッ 究と実践を積み重ね、着実に教育 プを発揮しながら、地域に密着し、 の質を高めていかなくてはなりま そのためにも、三重の教育の現

羽市を会場に、六十年ぶりに開催 究協議会三重大会が、伊勢市や鳥 第六十五回全国連合小学校長会研 折しも、平成二十五年度には、

集し、これら二つの大会を成功さ と諸活動の活性化を、より一層進 私たちは、校長会の組織力の向上 度には、津市を会場にして、第 されます。また、平成二十六年 協議会三重大会も開催されます。 めるためにも、校長会の総力を結 五十四回東海北陸中学校長会研究

準備を進めています。 しかし、こうした教育を支える

行委員会を組織し、校長会あげて せなければなりません。そのため に、現在、それぞれに三重大会実

務教育のより一層の振興を図り、 ければなりません。また、新しい 私たちは、総がかりで、教育諸条 たいと思います。 以て、県民の信託にも応えていき 向けても積極的に提言し、 時代の要請に応える教育の推進に 件の整備等にも取り組んでいかな 持って働くことができるように、 上を図り、だれもが意欲と誇りを にあります。子どもたちの幸せを 地方財政は、今や大変厳しい状況 願いつつ、教育の更なる充実と向

む校長会として、これからも発展 も絆を深め、校長自らが新たな知 していきます。 を拓き、経営力を高め、 に、三重県小中学校長会は、今後 こうした思いを達成するため 信頼を育

二重県小中学校長会 平成二十五年度

副会長 副会長 副会長 副会長(兼中学校部会長) 役員及び監事・ 奥 鈴 下 村豊 (兼中学校副部会長) (兼小学校副部会長) (兼小学校部会長) 井 準 次・南島東小 (兼小学校副部会長) 村 純 也·橋北中 嗣·内部小 事務局

幹 事 幹 事 副会長 幹 事 (兼小学校幹事) 竹 大 富 藤 星 (兼中学校幹事) (兼中学校幹事) (兼中学校幹事) (兼小学校幹事) 畄 内 修 身・米ノ庄小 (兼小学校幹事) (兼中学校副部会長) 林 敏 治・阿山中 野 邦 隆·陵成中 内 田 佳 郎·神志山小 勇 裕 也·関中 学・多気中 均・箕曲 夫・小俣中

事務局次長事務 局 長 小渡 事務局員 事務局次長 竹邉 昌 宮中小近 覚・長岡中 ・ 三和小 田川椋田

委員長 中 井 克 会 佳

活動方針

経営のあり方を検討します。 びが展開されるよう、確かな学校 を行います。 発展に必要な施策と予算要望活動 議論を経て、 小中学校で子どもたちの豊かな学 学校経営委員会は、 小中学校教育の充実 県内全ての その

(1)第一段階 活動内容 要望の取りまとめ

とめを依頼しました。 会に、各学校からの要望取りま します。 た要望を次の四つの柱に分類 今年も五月には、各郡市校長 当委員会において、 六月から 集まっ

④国に対する要望 ③学校運営上必要な教職員の確保 ②教育条件・教育環境の整備拡充 ①今日的教育課題に対応する施策

そして、

八月末までに平成

算についての要望書とその 説書をまとめます 一十六年度小中学校教育の 《発展に関する施策並びに予 充

2)第二段階 要望活動 います。 援する県教委への要望活動を 解説書をもとに、学校経営を支 議会議員への要望を予定して 校長会役員と連携して、 予定しています。併せて、 九月には、作成した要望書と 地元県 郡市

三、協力のお願い

つです。 ました。校長会からの要望が施策 に反映され、 平成二十六年度管理職選考か 受験者の年齢制限が緩和され 改善された事例の一

ます だきますよう、 実が具現化されるよう、みなさま 次年度にむけて、 かを議論できる風土があります。 子どもたちにとって何が一番大切 の叡智を当委員会に結集していた 有効に活用し、小中学校教育の充 本県は教育に関わる各機関が よろしくお願いし 限られた予算を

では、

学校現場での実践を研究す

進路指導を含めたキャリア教育

ることで、

小中学校の発達段階に

えます。

一、活動方針

応じた体系的な指導のあり方を考

①児童生徒理解を深め、

個性の伸

長を図り、自己実現を目指す進

②県内各小・中学校長間の情報交

路指導を推進する。



委員長 佐 藤 正 倫

県教育委員会・県立高校長会との いを進めます。そして、その意見 るようになってきました。そこで、 現行の選抜制度の選抜期間の長期 期選抜の中学校長の推薦はなくな 話し合いに反映させていきます。 りましたが、入学者選抜制度の抜 六年が経過しました。その間、 が前期選抜・後期選抜に変更され や要望を入学者選抜制度検証会・ に向けた選抜制度について話し合 本年度は前期・後期選抜の一本化 校教育活動への影響が話題にされ 化・早期化による中学校授業や高 本的な改善は行われていません。 県立高等学校の入学者選抜制

平成 25 年度 三重県小中学校長会・理事一覧						
郡市名	小学校理事			中学校理事		
	名前		所属校	名前		所属校
桑名郡市	小林	光博	長島北部小	箕浦	幸弘	光風中
いなべ市・員弁郡	橋	弘幸	城山小	服部	健	東員第一中
四日市市	大塚	秀樹	三重小	中西	正彦	笹川中
三重郡	西村	寛文	菰野小	今村	新次	菰野中
鈴鹿市	浅野	瑞代	栄小	金丸	勝実	鼓ヶ浦中
亀山市	近澤	賢次	神辺小	須川	幸弘	中部中
津市	杉本	一久	高野尾小	新家	厚志	西郊中
松阪市	小林	正則	第二小	鏡	仁治	嬉野中
多気郡	福岡	佳久	三瀬谷小	高倉	修	大台中
伊勢市	星崎	隆弘	御薗小	藤原	厚	豊浜中
度会郡	大藪	茂喜	南島西小	北村	吉洋	大紀中
鳥羽市	野垣内	り宗	鏡浦小	中村	昌弘	鏡浦中
志摩市	山下	行重	磯部小	山口	斉	和具中
伊賀市	仁保	晋作	青山小	奥井	肇久	緑ヶ丘中
名張市	梅本	俊成	つつじが丘小	相樂	浩也	南中
尾鷲市	玉置	秀作	宮之上小	玉置	保	赤羽中
北牟婁郡	中井	克佳	三浦小			
熊野市	大前	裕哉	新鹿小	山本	福士	五郷中
南牟婁郡	山﨑	裕一	成川小			

研 平成 25 年度

★第65回全国連合小学校長会研究協議会三重大会

(兼)第48回東海・北陸地区連合小学校長会教育研究三重大会 (兼)第50回三重県小学校長教育研究大会

� 🖯 時

サシンポジウム 萩野慎二氏

 車県小子校長教育研究大会
平成25年10月17日(木) AM:全体会 PM:分科会 10月18日(金) AM:全体会 三重県営サンアリーナ(全体会)
伊勢市・鳥羽市 各会場(13分科会)
プム テーマ「輝く未来への夢と絆そしてイノベーション」 氏 (NEC宇宙担当システム事業部 宇宙システム部シニアマネージャー) 告氏 (休) モビリティランド代表取締役社長) 財氏 (マジシャン (Word Magic Seminar Teenscontest の日本人初のグランプリ受賞者)) 浩氏 大樹氏

★第50回三重県中学校長研究大会

平成25年8月20日(火)AM:全体会 PM:分科会 三重県総合文化センター:多目的ホール(全体会) 三重県総合文化センター内各会場(8分科会) 「26東陸中三重大会の成功に向けて 開催概要および研究推進と運営業務について」 企画運営:東陸中三重大会実行委員会専門部 会 場

◎全日中福井大会 (兼)東陸中福井大会

- 平成25年10月24日(木) 25日(金)
- 時場 会 福井市

換に努める。

③三重県教育委員会·三重県高等 改善に努める。 学校長協会・三重県私学協会 関係諸機関と協議し入学者選 抜制度や高校活性化問題等の

(4)キャリア教育についての研修に

二、活動計画

(1) 進路指導について、小・中学校 努める。 間や郡市の情報交換と連携に

一、活動方針

(2)入学者選抜制度や高校活性化問 題等について、三重県教育委員 させる。 議を続け、学校現場の声を反映 会・公私立高等学校長協会と協

(3) これらの活動を推進するため当 委員会を年間六回開催する。

委員長 髙 倉



| 学ぶ意欲や学力・体力の低下、い くの面で課題が指摘されていま じめ、不登校、問題行動など、多 す。中学校においては、学校教育 全体で「生きる力」を育む中で「生 学校教育をめぐっては、生徒の

> のように活動計画を立てました。 え、昨年度の課題を検討し、以下 め細かな積極的な生徒指導が必要 教育全般において生徒指導の三機 教師と生徒の信頼関係の中で学校 思います。生徒指導においては、 員会としては以上のことを踏ま ではないでしょうか。生徒指導委 から自立の基礎が培われていくと き方」や「あり方」の指導の充実 能を生かした、個に対応した、き

決にむけた支援のあり方を追 生徒指導上の諸課題の早期解 いじめ問題、ネットモラル等の

②地域及び関係機関との連携を密 もに、安全・安心な学校づくり にし、相互の交流を深めるとと

③県内の各小中間の情報交換に努 める。

一、活動計画

修

(2)十月三十一日 (1)八月六日 では、実践校二校の発表をお願 区一名の参加を、「実践交流会」 いすることになります。 「生徒指導研修会」では、各地 御協力よろしくお願いいたし 生徒指導研修会 実践交流会



広報委

委員長 相 樂 浩 也



終盤となってきました。それぞれ な学校経営が実践されていること と思います。 な経営ビジョンの下、円滑で着実 の学校では、各校長先生方の確か 早いもので、本年度も一学期

ことをとおして、校長会の発展と の活動の様子を皆様にお伝えする な先生方の実践や、各郡市校長会 絆づくりに少しでも貢献できれば

校づくり向上に資するべく、本年 情報を提供し合って、県全体の学 度の活動方針・活動計画を決定し 広報委員会を開催し、各校長会が

一、活動方針

⑴広報制作をとおして、会員相互 の連帯意識の向上を図る。

> ③年三回の発行を着実に実行する。 ②会員の声を幅広く収集するとと すい紙面作りに努める。 もに、写真を充実させ、読みや

②編集内容は、①「私の学校づく (1)七月、十二月、 けて」③「特別寄稿」④「新任 り」②「今日的課題の克服に向 報を発行する。 ⑪「本部役員だより」とする。 会報告」⑩「地区校長会だより」 薦める一冊」⑧「随想」⑨「大 校長の声」⑤「ちょっといい話」 「あの時、あの人」⑦「私の 三月の三回、 会

と願っています。 私たち広報委員会は、そのよう

いの励みにもなります。 る仲間の事例を知ることは、 寄り添いながら教育課題に向き合 い、着実に学校づくりを進めてい そこで、四月三十日に、第一回 子どもや保護者・地域の願いに お互

ました。

います。学校教育を巡る課題もま く環境変化もすごい勢いで進んで 激な変化とともに、学校を取り巻 すます多様化し、複雑さを増して ご承知のように、社会状況の急

長に求められる経営ビジョンの明 こうした中にあって、私たち校

まで以上に求められています。 確化やマネジメント力の向上も今

処遇・待遇面についても大きな課 なっています。さらには、給与、 題が出てきています。 退職手当の減額、定年延長問題等、 ルヘルスの課題も大きなものと い過労や健康不安の増大、メンタ また一方で、職務の多忙化に伴

課題提起された「校長の勤務条件 に引き続き取組を進めます。 の維持改善」面について、昨年度 てきましたが、郡市会長会の中で 供や研究・提言を様々な面から行っ わる今日的課題に着目し、情報提 本委員会は、これまで校長に関

一、活動方針

③紙面構成は、八面·カラー印刷。

⑷会員への執筆依頼は、当該地区

理事を通じて行う。

勤務実態における健康不安の状況 認識するとともに、多岐にわたる 討・協議し、今後の展望も含めた めとする処遇・待遇面について検 や給与、「定年制の問題」をはじ 校長の勤務状況を把握し、多忙な 万向性を提言します。 校長としての職責の重大さを再

委員長

山

下

行 重

二、活動計画

①校長としてさらなるリーダーシッ 成するために、勤務条件改善のた プを発揮し、その職責を十分に達 めの実態調査を行います。

②課題を整理し、校長会としての 図るため、今後の方向性につい て提言していきます。 組織力の向上と活動の活性化を (十一月に実施予定)

鹄

別

寄

稿

二重県教育委員会

教育長

山

千

代

己

5

り、

こととお喜び申し上げます。また、 平素より、小中学校教育の充実・ かれましては、ますますご清栄の 心から感謝申し上げます。 発展のため、日々御尽力いただき 三重県小中学校長会の皆様にお

ては、 る中、 が取り上げられるようになってき 全・安心の確保など、多くの課題 おります。また、学校における安 このような中、 大きな社会問題ともなって 教育をめぐる課題もますま いじめや体罰の問題につい 多様化しつつあります。 国では、 教育再

そのためには、

自らの夢の実現

要課題と位置づけ、 生を経済再生と並ぶ我が国の最重 有識者等から

> 置し、教育に係る諸課題が議論さ れているところです。 構成される教育再生実行会議を設 このように教育への関心が高ま

いるところです。 その責任の重大さを痛感して 教育長という大役を仰せつか 教育の重要性が再認識される

なってほしいと願っています。 よい社会づくりに貢献できる人に 豊かな人生を築くとともに、 の激しいこれからの社会の中で、 在であり、 れながらにしてかけがえのない存 る可能性」をもっています。 子どもたちは、社会の宝、 一人ひとりが「大いな より 変化 生ま

さて、社会環境が大きく変化す

間関係を築くとともに、 来を切り拓いていく力(自立する 乗り越え、自信と意欲をもって未 をめざし、主体的に学び、 力)を身につけることが大切です。 また、一人ひとりの違いを認め お互いを尊重し、 豊かな人 命を大切 困難を

最後になりましたが、本会のま

一層の

御活躍を祈念いたします。 すますの御発展と皆様方の

やりの気持ちなどをもち、ともに に付けることも大切です。 貢献する力(共に生きる力) 支え合い生きていく未来づくりに にする心、

考えています る子どもたちを育てていきたいと これからの社会を生き抜いていけ 現場の先生方、また、関係者の皆 向上、 取組を進め、自信と誇りをもって、 りますが、市町教育委員会や学校 様方と連携・協働して課題解決の 徒教育の充実など様々な課題があ めや体罰への対応、外国人児童生 本県においても、学力・体力の 特別支援教育の充実、 いじ

取組を、昨年度から展開している 域が一体となった県民総参加によ る「みえの学力向上県民運動」 このためにも、 学校、 家庭、

する意欲」の育成、「学びと育ち に進めていきたいと考えていま たちに関わるすべての方々ととも とおした学び」の推進を、 「環境づくり」の推進、 視点である「主体的に学び行動 「読書を 子ども

人に対する感謝と思い を身

の 地

ところです。 今後も、県民運動の三つの取組

2 役員会・校種別役員会 9 役員会・校種別役員会 25 年度 9 進路指導委員会 14 代表者会・校種別代表者会 18 学校経営委員会 ブロック役員候補者推薦委員会 年間行事予定 広報委員会 1 役員会・校種別役員会 28 6 生徒指導研修会 4 役員会・校種別役員会 8 18 郡市会長会議 三重県中学校長研究大会 月日日 23 臨時役員会・学校経営委員会 27 代表者会・校種別代表者会 2 内 役員会・校種別役員会 27 広報委員会 11 役員会・校種別役員会 5 12 代表者会・校種別代表者会 27 役員候補者推薦委員会 13 退職校長「感謝の集い」 9 18 代表者会・校種別代表者会 12 広報・特別委員会 6 役員会・校種別役員会 25 定期総会 17 学校経営委員会 3 27 臨時役員会・校種別役員会 27 役員候補者推薦委員会 30 広報委員会 19 進路指導委員会 30 (中) 拡大研究委員会 1 役員会・校種別役員会 (中) 拡大研究委員会 進路指導委員会 3 実行委員会 5/14・8/8・10/8・11/22 17~18 全連小三重大会 役員会・校種別役員会 9 事務局会 4/16・6/13・7/11・9/10 10 24 ~ 25 14 郡市会長会議 全日中福井大会 4部会9委員会を随時開催 5 代表者会・各専門委員会 29 進路指導委員会・キャリア教育研修会 $22 \sim 23$ 31 生徒指導実践交流会 全日中総会 役員会・校種別役員会 24 全連小総会 進路指導委員会 30 (中) 拡大研究委員会 12 実行委員会 5/9·7/4·8/1·11/14·2/20 代表者会・各専門委員会 進路指導委員会 事務局会 6/11.9/5.1/9 役員会・校種別役員会 19 役員候補者推薦委員会 6 中 6部会を随時開催 18 代表者会・各専門委員会 21 (中) 拡大研究委員会 20 (中) 拡大研究委員会 12 5 役員会・校種別役員会





す。」と話されました。 こに居たことを感慨深く思いま うど半分ぐらいの時に、自分もそ どる旅がしたくなって。」と、五 れたそうです。今年、創立百四十 月のある日、仙台からのお客さま が、この小学校の長い歴史のちょ 周年を迎えることをお伝えする へ入学され、一年半ほどを過ごさ からの疎開で、昭和十三年に本校 が学校に立ち寄られました。大阪 「ふらっと、自分のルーツをた 「過ごしたのは短い間でした

の一年が刻まれることの重みを実 る歴史の一ページに、校長として 脈々と引き継がれてきた伝統あ

> した。 思いをさせていただいた出会いで あらためて身が引き締まる

楽しみです。 毎朝の子どもたちとの出会いも

まってきます。 てきました。「なんで、水やらん くなってしまうよ。」と話に加わっ 手にしていたBさんが、「えー、 そこへ、ペットボトルじょうろを おばあちゃんが言ってたもん。」 で水やらんほうが甘くなるって、 けてきました。「へぇ、そうなの。」 うとした二年生のAさんが話しか 育てているミニトマトを見に行こ り水やらへんよ。」、一人一鉢ずつ ほうが甘いの?」と周りの子も集 水あげやんと、しなーって元気な **゙だってな、トマトはぎりぎりま** 「校長先生、わたしは、あんま

校 長

す。 もたちは・・?私もわくわくしま なったトマトを口にした時、子ど の後、教室ではどんな学びが広 マを担任の先生に伝えました。こ がっていくのでしょう。真っ赤に 職員室に戻ってから、朝の一コ

> きたいと思っています。 職員とともに学び合いを深めてい 出会いを大切にしていきます。そ 場面での「人・もの・こと」との れ合い、学び合い」です。様々な ふれ合いを通して、子どもたち教 して、そこへの主体的な関わりや 本校の教育目標は「出会い、ふ

会話を大切に 伊勢市立佐八小学校 校長 舟 橋



もそれぞれ微妙に違う。「A先生、 始め、朝早くから出勤している先 今日も元気そうだな。」「Bさん何 瞬だ。先生方から返ってくる返事 返ってくる。何気ないあいさつで 生方から、大きな声のあいさつが か悩んでいるのかな?」 妙に違うと感じる。快い緊張の はようございます。」教頭先生を あるが、私の口から出るあいさつ 「おはようございまーす。」「お 一声の大きさや口調が毎日、微

少しでもたくさん。」とお願いし さんに「子どもと話してください、 テレビが茶の間を独占するように い。PTAの総会で、 後はその比ではないだろう。保護 と言われる。テレビゲームの出現 なって親子の会話が少なくなった た。言い古されたことであるが、 保護者の皆

清 さまじい量の情報が飛び交う。左 らでは遅いと思うからだ。相対し の会話の重要性を強調した。後か 脳で判断できる意味情報だけでは て会話をする人と人の間には、

す

強固な絆を作り上げると私は思 を意識下のレベルでも結びつけ、 エーション、そんなものが人と人 び込んでくる相手の表情のバリ 違い、無意識に感じている相手の 減する唾液の浸潤による破擦音の ない。口調、抑揚、感情により増 ほのかな体臭、視覚的に飛

することもある。(忙しい時に迷 もらえる。でも、私は敢えて、給 はワゴンに集めておけば、運んで できるからだ。ちょっと世間話を 食室まで自分で持っていくことに している。調理員さんと直接話が 給食の検食が終わった後、食器

今日は誰とどんな話ができるか

生の言葉は本当に情報量が多

しつつ、わくわくしながら入る毎 ら、朝、 な・・・?そんなことを考えなが 日である。 職員室に、ちょっと緊張



だと思う。でも、私は敢えて親子 者が仕事で忙しくなったのも事実

学校生活が始まります。 さつのやりとりで、本校の一日の 子どもたちと先生との元気なあい 「おはようございます。」という

ともに学校に対する保護者・地域 言えます。 る小規模校の強みを有する学校と 位置し、豊かな自然に恵まれると の支援や協力体制にも恵まれてい 本校は、風光明媚な志摩半島に

校も志摩市立小中学校再編基本計 をはじめとする教育活動に取り組 学校の出身であり、結束力も強く 純朴で、真面目に落ち着いて授業 ほとんどの生徒が同じ保育所・小 んでいます。少子化が進む中、 全校生徒三十七人と少人数で、 本

1日 隣の中学校と再編されます。 画により平成二十七年度には、

二年間、再編へ向けた取組と共に いきたいと考えています。 いけるように、職員共々努力して を大切にできる子ども」を育てて とができる」魅力ある学校を作り、 たち一人ひとりが主人公で輝くこ 下のような取組を通して「子ども 小規模校である強みを生かし、以 「学校や地域を好きになり、仲間 そのような現状の中、残された

展開する。 さらなるスキルアップを図り、 子どもたちに「わかる授業」を

○授業研究を充実させ、教職員の

○生徒一人ひとりにあったきめ細 ○保育所・小学校と連携して、情 かな指導により部活動をさら 報交換、交流授業、人権講演会 に充実させる。

○地域と連携して、浜掃除や廃品 回収を実施したり、国の重要無 や合同運動会を実施する。 形民俗文化財「安乗の人形芝居

○学校通信「潮風にのって」 回覧板を通して届ける。 く地域の人たちにも自治会の 多く文字はできるかぎり少な どもたちの姿を中心に、写真を 学校の様子やがんばっている子 くして発行し、保護者だけでな への出演に向けて取り組む。



熊野市立金山小学校 池 田 典 繁



頭の中に広がっていった。 そう思った。そして、三十数年前 分が。何でまた熊野なんだ?正直 任を言い渡されたとき、えつ、自 び込んでくる。三月、熊野への赴 け七里御浜の長い海岸線が目に飛 の海がみえてくる。鬼ヶ城のトン 飛鳥。そして佐田坂を下ると熊野 に通った矢ノ川峠の険しい山々が ネルを抜けると、パッと視界が開 尾鷲を過ぎ、矢ノ川を越えると

販売所。良いところだな。アパー デコポンがならべられている無人 トが決まり、七里御浜で石を集め 心に変化が起き始めた。桜が咲き、 れた三月末の良く晴れた日、 ところが、アパートを探しに訪 . 私の

たと思う。

なひとときだった。 りずし」を食べる。素朴な味だけ るしている。駅前で買った「めは ど、真っ青な海と空のもと、贅沢 た。色は違うがどれも丸くつるつ

こと。津からの距離は百四十㎞ 勢道が紀伊長島まで延びた翌日の およそ二時間。 エンジンの調子はよい。折しも紀 二日後、熊野へ向かう私の車の

優しい。学校から帰ると南紀の地 話ではなく、 紀という地域の不安ではない。子 活は、自分にとってちょっといい 紀はイイよ。もっと若いときに交 泉にも入った。今、皆さんに私が 回り大きくさせてくれるであろう 驚いた自分。と同時に北勢の地図 図を広げている自分がいる。新採 れは、自分自身の仕事のこと。南 がないと言えば嘘になる。でもそ んじゃないかと思う。熊野での牛 流があればお互いがプラスに働く 言いたいこと。熊野はイイよ。南 熊野。こちらに来て早二ヶ月。温 教師として自分を育ててくれた昌 を開いていた自分がよみがえる。 どもたちは素朴。職員の人たちも して始業式、入学式と続く。不安 四月初めの忙しい職員会議。 津。そしてこれから自分を一 赴任地が員弁と聞かされ すごくいい話であっ

「ストレス解消法」

多気町立勢和中学校 本 弘

司



どの年代にも共通する解消法のべ 動と記載されていました。会話は は会話・買い物(食事)・睡眠、 を始めることにしました。 代以降、年代があがるにつれ順 スト1に挙げられ、飲酒は四十歳 ト3を調べたところ、二十歳代で し興味のあった゛トレッキング゛ になっていた私は、運動を選び少 六十歳代では散歩がベスト3に。 位は上がってきています。また、 ……五十歳代では会話・飲酒・運 以前から体重増と運動不足が気 各年代別ストレス解消法のベス

下りの 幅広い年齢層と多くの人に驚きな 連続でしたが、頂上から見た景色 した靴の痛さに、サイズが合わず、 ばりました。それ用に迷って購入 がらも、負けまいと頂上までがん という甘い言葉に誘われ、経が峯 (八一九m)ミに挑戦してみました。 まず、小学生がよく遠足で登る 一歩一歩がさらなる苦痛の

> ました。 はもとより、ちょっとした達成感 を味わうことができた一日となり

磯部までの二十四㎞を歩きまし ウォーク。で、賢島から国府経由 近では五月に〝伊勢志摩ツーデー ク* で伊勢山上朝熊山スカイライ 歩くイベントにも数回挑戦しま あちこち出かけたり、自然の中を した。十二月には、「中日ウォー 買い揃え、小さなカメラを片手に ンを歩いて頂上まで登ったり、最 その後、シューズから帽子まで

県内外から幅広い年代の人が集ま してくれています。 ベントへの参加を楽しみなものと できたことで、今後も各地でのイ 同時に、里海・里山の自然を体感 るイベントは、運動不足の解消と こと六時間、流石に疲れましたが、 八時にスタートし、歩き続ける

と思っています。 に、時間を見つけ続けていければ した。ストレスを抱えないよう は、ストレスなし、という結果で をチェックしたところ、十個のう さて、自分自身のストレス状態 一個しか当てはまらず、判定



地 校長会だよ

鈴鹿 市小学校長会

る学校では、児童数の減少が今後 また、鈴鹿山脈のふもとに立地す 災に対する課題が出てきています。 対する避難訓練を実施するなど防 湾岸に立地する学校では、津波に て特色があります。例えば、伊勢 の課題となってきています。 面積を持ち、それぞれの地域によっ 校あり、五月現在の児童在籍数は 一二、○四九名となっています。 鈴鹿市は、海から山までの広い 鈴鹿市の小学校は、 このように、それぞれの学校に 市内に三十

くてはなりません。 判断しながら、教育活動を進めな 小学校長会では、各校によって

よって、様々な課題があるため、

り、情報交換を行ったりすること で、学校経営を進めていく上での 学校が抱える課題を出し合った 示唆としています。 課題は異なるものの、それぞれの

いずれかに属し、それぞれのテー また、全員が三つの研修部会の

マにそって研修を行っています。

- ○「『鈴鹿型コミュニティスクー ル』」創意ある学校運営」 「いじめや不登校等を生まない
- の各テーマで討議が行われまし 学校づくりの推進」 関との連携と校長の在り方」 「学校・地域・異校種・関係機

なってしまったり、判断に迷った と、時には、独りよがりの判断と 日々の学校運営を行っている



います。 りすることで、仲間の知恵に学び 課題を出し合ったり、テーマに そのような中で、校長会は各校の りすることも少なくありません。 自身の力量を高める機会となって 沿った共通課題について論議した

亀 市中学校長会

亀山城趾、その多聞櫓に隣接する 城とも呼ばれ最近修復の完了した模したデザインの関中学校、粉蝶 中学校と、それぞれの校区には歴 の墓碑の建つ能褒野陵のある中部 亡くなった際に白鳥となって飛び 亀山中学校、そして、日本武尊が 者の絶えない関宿、その街並みを 海道沿いの自然豊かな歴史の街 知名度の上がった亀山市は、旧東 史的に有名な史跡を有しています。 去ったとの伝説のある白鳥塚、そ 約四千名余です。中学校はわずか で、人口約五万人、児童生徒数は の生産や第二名神の開通や渋滞で 小さくともキラリと輝く校長会に 一校ですが、休日ともなると散策 市内校長会は、十一ある小学校 液晶テレビのブランドモデル

> 換等を自由闊達に行っています。 校経営上の課題協議や各種情報交

少年育成市民団体と協働し策定し 標として教育現場をはじめ市民レ たもので、学校や公共施設などに する子」など六項目からなり、青 まりを守る子」「人やものを大切に れは、「ありがとうの言える子」「き それを特徴付けるものとして「亀 な体を育みながら確かな学力を たちの育成で、豊かな心と健やか ベルでの取組を広げています。 山っ子市民宣言」があります。こ 培っていくことを掲げています。 希望に輝く心豊かな亀山の子ども 亀山市の学校教育ビジョンは、 次世代を担う子育ての指

と輝く校長会を目指しています。 る亀山市中学校長会、亀山市長の 教育活動で協力と連携を図ってい を捧げる沖縄修学旅行と、多くの 言葉を借りて、小さくともキラリ る職場体験、平和への思いと願い 二百もの事業所の協力を得てい



原稿募集

つきましては事務局へお問い合 います。なお、内容・字数等に 会員の皆様の投稿をお待ちして わせ下さい。

「校長会みえ」について、ご意見 ご要望があればお聞かせ下さい。 三重県小中学校長会

広報委員会

集 後 記

謝申し上げます。 けていただいた皆様方には、心より感 務の中、原稿執筆の依頼を快く引き受 た。新しい年度を迎え、大変お忙しい公 第三十四号を発行する運びとなりまし 三重県小中学校長会広報「みえ」の

ました。 ついても、委員会において確認いたし みやすい紙面作りに努めていくことに 向上を図るとともに、読みやすく親し また、会員相互の連帯意識のさらなる 広く掲載してまいりたいと思います。 までの形式を踏襲し、皆様方の声を幅 ことを、先日の委員会で決定いたしま 回の広報を発行し、情報提供に努める した。紙面構成等につきましては、昨年 さて、広報委員会では、今年度も年三

長会組織の充実に役立つ広報誌となる 等を情報提供し、各校の教育活動や校 法令改正などが打ち出されています。 変容し、矢継ぎ早に教育政策の改革や そんな大きな変化に即応できる事例 今、教育界を取り巻く環境は激しく

お願いいたします。 今後とも、ご支援ご協力をよろしく ことをめざしていきます